

介護講師研修会レポート

—2021年度 介護講師研修会の報告—

上山小百合*

2021年9月30日受理

はじめに

介護講師研究会を2018年3月より大阪で開始している。2021年現在も月1回のペースで開催している。2か月に1回神戸でも開催していたが、コロナ禍で現在は大阪でのみ実施している。開始のきっかけは、自分自身がフリーランスで活動する介護講師の経験があり、その中で、介護講師のスキルアップや交流の機会が少ないと感じたことにある。既存のものがないため、介護教育に携わる講師が研修を通して、スキルアップできる場所、情報共有の場所をつくる目的をもって継続的な実施を目指してきた。毎月のテーマは、参加者の希望を参考に選択している。

参加者は、介護福祉士、看護師などの介護分野に関連した介護講師、また、現場で継続して働いている高齢者、障害者関連のケアマネジャー、管理者、介護職員で構成されている。講師の年齢層は、30代

3名、40代13名、50代3名、60代2名で40代の講師が多い。性別は、女性が8割を占める。講師経験は1年未満から17年までと幅広い層の方が参加できる内容にしている。参加者が講師になるきっかけは、現場の指導育成をより確実に適切に指導したい、今までの自己の経験を体系化したいと希望される方が多い。

近年は参加者も増え、「介護講師に求められる知識・技術の習得と実践」と研修内容に盛り込み、時代に求められる資質を取り入れるように工夫してきた。また、本研修会で学んだことを吸収し、なおかつ発信できるインプットとアウトプットを両立させた研修カリキュラムとしている。

本稿では2021年度の介護講師の研修会の実際と今後の課題について述べる。

2021年度の毎月のテーマ内容

4月	講師に求められるコミュニケーション力
5月	今の時代に流行る施設・事業所とは？
6月	災害対策（BCP）を知る
7月	初任者シラバスと講師としての心構え
8月	介護福祉士国家試験対策の傾向と対策

*大阪健康福祉短期大学

連絡先：上山小百合

〒545-6023 大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-1-43

あべのハルカス 23F

大阪健康福祉短期大学 附属福祉実践研究センター

E-mail: s.ueyama@kenko-fukushi.ac.jp

①4月 講師に求められるコミュニケーション力

参加者は、10名で2つのグループに分かれてグループディスカッションを実施する。

キーワードとしては、

- ・受講生のニーズ把握
- ・受講生が不快に思わないような言葉遣い・態度
- ・承認
- ・介護に興味・関心を持ってもらえるような関わり
- ・合理的配慮
- ・マナー
- ・統一感
- ・臨機応変

参加された講師からの感想

・時代ともに価値観が多様化しているので、受講生の方の個々に対する対応がとても複雑化している。
・講師が行う役割と実施内容（特に演習授業）がコロナ渦より変更が多い。
ソーシャルディスタンス、演習授業の変更、またはグループワークはなし等といった授業で得られる効果が半減している。

②5月 今の時代の流行る施設・事業所とは？

参加者は、11名で2つのグループに分かれてグループディスカッションを実施する。

キーワードは、

- ・ペットと一緒に過ごせる
- ・医療の充実している
- ・自己決定しやすい
- ・趣味が継続できる
- ・食事が美味しい
- ・家族も含めた支援体制（レスパイトサービス）
- ・情報公開されている
- ・地域の連携がとれていること

参加された講師からの感想

・利用者一人のことだけでなく、地域全体で人を支えることが求められる社会。
・今の生活の連続帯が重要なポイントになる。
・楽しい場所や環境づくりの促進。
・迅速に情報が得られるツールの選択。
・社会資源を知る必要がある。
・各個人の価値観の多様性の理解。
・食に関する興味・関心が多い。
・流行る施設は、特有の特徴がある。

③6月 災害対策（BCP）を知る

参加者は、9名で2つのグループに分かれてグループディスカッションを実施する。

キーワードは、

- ・時間が経過すると忘れてしまう
- ・ローリング・ストック
- ・体験したことがないので、想定しにくい
- ・プライバシー
- ・災害時の実際
- ・リスクマネジメント

参加された講師からの感想

・自己の災害体験が少ないので、リアルタイムでの情報が少ない。
・時間・状況・場面により災害の対応違う。
・実際の体験があり災害で怖い思いをした方がほうが、災害への事前準備や備えがしっかりしている。
・災害に関するツールやサイトなどの情報を得る習慣が少ない。

④7月 初任者研修のシラバスと心構え

参加者は、14名で全体のシラバスの説明と内容について講師間の質問等を確認する。

講師からの質問は、

・食事介助の項目で口腔ケアを入れる方が内容の理解がつながりやすい。

- ・介護過程の内容をどこまで話す必要があるか？
- ・移動介助と排泄介助の連動（ポータブルトイレ）
- ・時間配分が難しい。
- ・DVDや動画活用で、介護の仕事や役割をわかりやすくする。
- ・参考資料の中で漫画の活用でイメージしやすい。

⑤8月 介護福祉士国家試験対策の傾向と対策

参加者は11名で、全体参加者で情報の共有を実施した。

キーワードは、

- ・視覚優位の方が多い。
- ・自己へのプレッシャー
- ・アウトプット
- ・知識のバランス
- ・勉強の楽しみ
- ・相乗効果
- ・得意な科目から進める
- ・習慣化

参加された講師からの感想

- ・問題を解く中で、問題の傾向と自己のできない部分、できる部分の把握をする。
- ・自分に合った問題集、参考書を見つける。
- ・時間や場所を決めてその時間や場所で勉強する習慣を身につける。
- ・受験料の金額が去年より上がっている。

2020年 15,300円

2021年 18,380円

- ・受講するかたの視覚優位や聴覚優位か実践優位かを理解する。

今後の課題

この研修会に参加した方が学んだことを吸収して、尚且つ発信する場面や状況を意図的に作り出す環境づくりが大切である。インプットとアウトプットを両立させた研修カリキュラムの充実とテーマごとに参加者講師からの模擬授業やテーマについてのレクチャーできることを増やしていきたい。

参加されるメンバーの中には、今後、介護講師をしてみたいと考えている新人講師の指導育成も併せて実施していきたい。